

「モーグル・ジュニアキャンプ」

(1) 趣 旨 秋田県のフリースタイルスキー（モーグル）に係るジュニアの育成を推進しつつ、普及活動による交流人口の増加とスキーを通じた健康増進に努めることを目的とする。

(2) 主 催 秋田県・仙北市

(3) 主 管 秋田県スキー連盟（フリースタイル部会 ジュニア育成強化推進プロジェクトチーム）



(4) 協 賛 たざわ湖スキー場

(5) 会 場 たざわ湖スキー場（ジュニアキャンプ用特設コース）

(6) 開催日程 令和 7 年 2 月 15 日（土） 1 日目：開講式および講習会
令和 7 年 2 月 16 日（日） 2 日目：講習会および閉講式

(7) 参加資格 下記項目の全てに該当する方
①秋田県に在住または通学している小学生・中学生・高校生の方
②整地においてターン等を他者の補助なく自由に行える方

(8) 募集人数 各日 30 名程度 ※定員になり次第、募集を終了します。

(9) 参加申込 下記の専用申込フォームよりお申込下さい。

【 申込フォーム 】

<https://forms.gle/yaVxFWc8L9Xnzttz7>

※期日以降の申込や変更は行えません。

【 参加申込期日 】

令和 7 年 1 月 26 日（日）

※申込期日以降の受付はできません。



(10) 参加費用

コース	期間	参加料金	参加料金に含む事項	
			リフト券	昼食
A	両日	5,000 円	○	○
B	15日（土）	3,000 円		
C	16日（日）			
宿泊施設を利用したAコース参加者への助成金				2,000 円

※宿泊する場合は、各自参加者側にてご対応下さい。

※参加費用の返金は、キャンセルした状況によって返金できません。

※最終日の受付にて、宿泊に係る領収書の確認をします。

(11) 注意事項 ◇参加者の安全確保に努めた開催を行います。万が一に備え、傷害保険等は各自で対応願います。

◇講習日当日に悪天候となった場合等、随時日程を変更します。

◇申込の際に同意事項および誓約事項を必ずお読み下さい。

(12) 問合せ先 秋田県スキー連盟 フリースタイル部会 Jr. 育成強化推進PJT事務局
メール : fssakita@yahoo.co.jp

「モーグル・ジュニアキャンプ」の詳細日程

【 令和 7 年 2 月 15 日 (土) 】 1 日目

- 08 : 30 - 受付開始 ◆田沢湖スキー場管理センター2階「プレスルーム」
※受付の際に参加費用の徴収を行います。
※荷物は、無料休憩所に置いて下さい。
※当日やむを得ない場合を除き、受付時間に遅れそうな場合は、事前にメール等で連絡願います。
- 09 : 00 - 開講式 ※田沢湖スキー場管理センター2階「プレスルーム」
で行います。(状況により開催場所の変更有)
- 09 : 30 - 講習会① ◆グループ編成・ジャッジハウス見学(希望者のみ)
◆講師による基本指導(ターン・エア)
【特別講師】
畑中 みゆき 氏(元オリンピック日本代表)
- 11 : 30 - 昼休憩 ※ロッジの混雑状況で時間を変更します。
- 13 : 00 - 講習会② ◆講師による基本指導(ターン・エア)
◆個別トレーニング
- 15 : 30 - 講習会終了 ※片付け後、現地解散となります。

【 令和 7 年 2 月 16 日 (日) 】 2 日目

- 08 : 30 - 受付開始 ※受付後、管理センター前に集合して下さい。
※宿泊施設を利用されたAコース参加者は、受付の際に領収書のご提示で2,000円を助成します。
- 09 : 00 - 講習会③ ◆前日の講習内容を復習(ターン・エア)
◆個別トレーニング
- 11 : 30 - 昼休憩 ※ロッジの混雑状況で時間を変更します。
- 13 : 00 - 講習会④ ◆参加者全員による模擬競技会(採点会)
※公認審判員が滑走を採点します。
※模擬競技会への参加は強制いたしませんので、個別レッスンをご希望の際は、事前にお申し出下さい。
- 14 : 40 - 全日程終了 ※各自片付け後、閉講式会場に集合して下さい。
- 15 : 00 - 閉講式 ※開講式と同じ場所で行います。
- 15 : 30 - 現地解散 ※事故等が無いよう、各自気を付けてご帰宅下さい。

≪ 感染症予防対策は、各自で適宜行って下さい ≫

≪ 両日共に講習中は、適度にロッジ等で休憩をします ≫

≪ 混雑等の状況等に応じて、随時講習時間等を変更する場合があります ≫

⚠⚠⚠ 随行者または保護者の方へのお願い ⚠⚠⚠

キャンプ参加者の安全確保をするため、以下の事項を必ず守って下さい。

- ❖コース上に参加者がいる場合は、接触等による重大な事故を招かないよう、絶対に滑走しないで下さい。
- ❖一般客がコースを滑走する可能性があるため、参加者がコース上からいなくなるまで待つように指導して下さい。（声がけの例：「今は参加者が講習中なので、全員コースからいなくなるまで滑らないで下さい。」等）
- ❖コース途中で観覧している際に、目の前で参加者が転倒してしまい、再滑走に時間がかかりそうな場合は、積極的な補助（コースアウトさせる、用具を拾う等）をお願いします。
- ❖コース外で撮影や観覧をする場合は、参加者との接触事故等を招かないよう、コースに近い場所、コース終点付近、または滑走ラインの延長上に絶対滞在しないで下さい。（参加者が突然コースアウト、ターン、停止のエッジングをする可能性があります。）
- ❖参加者が安全かつ安心して滑走できるよう、こまめなコース整備（デラパージュ等）にご協力願います。

- ❖参加者が滑走する際は、大きな声援をお願いします。

